

稲作情報 第4号

黒 部 市
黒 部 市 農 業 技 術 会 議

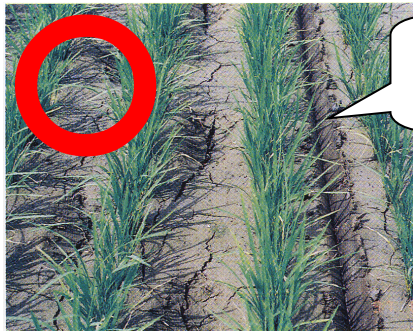
水稻の生育は、概ね順調に推移しています。
今後は『根づくり』に向け、「溝掘り・中干し」を実施しましょう。

1 中干しの前に、確実に“入水・排水するための溝”を作る

【目的】中干し（排水）やその後の間断かん水（入水）を効率的に行うため。

【ポイント】…詳細は、前月号を参照

- ①土が軟らかいと掘りにくいため、事前に軽く田干しを行い、土壌をやや固める。
- ②溝は、水がたまっているところを重点に、5mに1本を目安とする。
- ③枕地側も掘り、長辺に掘った溝と連結する。
- ④溝は排水柵に確実に連結する。



溝がしっかり
残っている。



土が軟らか過ぎ、
形が崩れている。

2 中干しは田植後4週間まで（莖数15本/株程度を目途）に開始する

【中干しの効果】

- ①土壌中の有害ガスの除去と酸素供給により、“根の伸長”を促進する。
- ②過剰な分けつの発生を抑える。
- ③葉が立ち、稲の受光姿勢が良くなる。
- ④田面が硬くなり、コンバイン作業に備えることができる。

【中干しの程度】

中干しは5～7日間程度行い、田面に小さな亀裂が入り、“足跡が残る程度”まで干しましょう（一度に干せなかった場合は、数回繰り返す）。

過繁茂になりやすい水田
乾きにくい湿田

田面に大きな亀裂が入るまで強く干す

乾きやすい砂地の水田

一度に強く干さず、田面に小さな亀裂が入る程度まで干す



農業用水路の水量が多い時期です。用水への転落に気をつけましょう！！
今年の夏も厳しい猛暑が予想されます。農作業中の熱中症対策を心がけましょう！！

3 中干し後は「間断かん水」の実施

しっかり田んぼが干せた後は、出穂 30 日前(5/10～15 田植の場合、6 月 30 日)まで「間断かん水」を行いましょ。富富富についても、中干し後、通常どおりの「間断かん水」を行いましょ。

※高温時は、定期的に入水する等、干し過ぎに注意(地温を下げる)

4 エスアイ加里らくだの施用

ケイ酸やカリには、稲体や根の活力を高め、稲の受光体勢を改善し、下葉の枯上がりや軽減する効果があるため、必ず施用しましょ。

肥料名	施用時期	施用量
エスアイ加里らくだ	6月 20 日頃	15 kg/10a

5 後期除草剤の散布

初中期一発剤や中期剤の散布後も雑草が残った場合は、雑草の種類に応じた後期剤を散布しましょ。

【雑草が残った場合】

適用雑草	除草剤名	散布量	散布時期	注意事項
ノビエ	クリンチャー 1キロ粒剤	1.5kg/10a	田植後 25 日～ ノビエ5葉期まで (収穫 30 日前まで)	5cm程度の深水にして散布し、その後7日間は止水管理とし、落水やかけ流しをしない。無人航空機散布可
	トドメ MF 乳剤	200 ml/10a (希釈水量 25～100ℓ)	田植後 14 日～ ノビエ7葉期まで (収穫 50 日前まで)	落水散布を基本とするが、湛水散布も可能。散布後 2 週間程度の残効が期待できる。
広葉雑草	バサグラン粒剤	4kg/10a	田植後 15～55 日 (収穫 60 日前まで) ※クログワイは田植後 15～35 日(草丈 15 cm 以下)まで	落水し、田面が湿った状態で晴天日を選んで散布する。散布後3～4日間は入水・落水しない。イネ科雑草には効果が無い。
	バイスコープ 1キロ粒剤	1kg/10a	田植後 14～60 日 (収穫 45 日前まで)	湛水散布またはごく浅く湛水して散布。無人航空機散布可 直播水稻にも使えます。
ノビエや 広葉雑草	ロイヤント乳剤	200 ml/10a (希釈水量 25～100ℓ)	田植後 20 日～ ノビエ5葉期まで (収穫 45 日前まで)	落水散布またはごく浅水で散布または湛水散布。 直播水稻にも使えます。
	アレイルSC	500 ml/10a (希釈水量 25～100ℓ)	田植後 20 日～ ノビエ5葉期まで (収穫 45 日前まで) 出穂始期 15 日前まで	湛水散布または落水散布。

※上記以外の除草剤や初めて使用する除草剤については、指導員等にご相談ください。

JAくろべ営農センター TEL 52-5615
新川農林振興センター TEL 52-0945

JAくろべ南部営業所 TEL 54-5450
北部営業所 TEL 54-0034
東部営業所 TEL 65-7200